

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	第1回 河内長野市学校保健会
2 開催日時	令和4年8月29日 月曜日 14時25分から15時35分
3 開催場所	河内長野市役所 7階 行政委員会室
4 会議の概要	<ul style="list-style-type: none">○ 会長・副会長の選出○ 令和4年度定期健康診断の結果報告等○ 学校における熱中症対策について
5 公開・非公開の別 (理由)	公開 (一部個人情報を扱う時には非公開)
6 傍聴人数	0 人
7 問い合わせ先	(担当課名) 教育指導課 (内線 755)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

令和4年度 第1回河内長野市学校保健会（報告）

日時 令和4年8月29日(金) 14:25～15:35

場所 行政委員会室

事務局出席 安田理事・生田課長・篠崎参事・小関主幹

1. 委嘱状交付
2. 挨拶（教育長）
3. 委員紹介と事務局紹介
4. 会長・副会長の選出 会長 佐渡委員（千代田小学校）
副会長 船多委員（薬剤師会）
5. 議題

【医】医師会、【歯】歯科医師会、【薬】薬剤師会、【保】保健所、【学】学校長 【養】養護教諭、【保主】保健主事、【事】事務局
--

①令和4年度定期健康診断および学校環境衛生検査結果について報告（事務局）

尿検査、心臓検診、歯科健診、視力検査結果、肥満度結果および水質検査・プール水質照度検査・キシレン検査結果について報告

【薬】キシレンは、発火性が高く、吸入により、目・のどの痛み、気分不良、頭痛などの症状が現れることがある。市での平成23年度以降の改修工事時の検査結果で、令和3年4月改正された基準値に当てはめると、天野小学校と東中学校が上回っていた。そこで今回東中学校で検査をすることになった。検査結果は、基準値を満たしていたので、問題なかった。キシレンは揮発性のものであるので、他の学校での検査を必要とするかは、今後教育委員会と相談しながら進めていきたい。

【医】小学6年生において、肥満度20%以上の数値が高いが、何か考えられるのか。高度肥満はどれくらいいるのか。

コロナ禍により運動不足など影響は考えられるか。

【事】小学6年生は、令和3年時5年生の数値でも高かったため、そこが推移したのではないかと考えるが、学校の状況を今後確認したい。

【歯】心臓検診の欠席者の扱いはどうしているのか。

【事】学校より保護者に受診を勧めている。

②学校における熱中症対策について

【事】各学校においては、対策をとりながら教育活動をすすめているところだが、本ガイドラインを全ての教職員と共有し、一層の熱中症対策の推進のため、熱中症対策ガイドライン案を作成した。

本日は、委員のみなさまにお諮りし、教員一人ひとりが熱中症の対応について十分理解し、

教育活動中の場面や状況に応じ適切に判断・行動することで、児童生徒の命や健康を守ることに繋げることができるような熱中症対策を講じることのできるガイドラインにしたい。ガイドラインの内容は、大きく分けて、熱中症についての基礎知識、熱中症を防ぐための学校における対策、熱中症発生時の学校での対応とした。

P21 の経口補水液の作り方は、井上委員にご提供いただき、P22、23 の熱中症チェックシートは、医師会小児科部会様で検討いただいた。

【保主】中学校の体育授業では、事前に水分をしっかり補給をすること、朝ご飯をしっかり食べることの指導をし、途中で水分補給をしたり、申出により補給するようになってから、途中で体調を崩す生徒が減った。マスクについては、体育の時には外すように言ってもつけていたい生徒もいる。しかし、顔が赤い時などは、外すように指示している。

【学】(小) 本校では、覚書のようなもの作っていて、熱中症対策についてまとめている。マスクについて、外すことを嫌がる子が小学校でもいるが、体育時は、下足室で外すように指示している。高学年は、途中で話し合い活動もあるので、活動の直前には、ポケットに入れるようにさせている。マスクの必要はありません、程度ではなかなか徹底できないので、校長から言われていると言って外させている。

【歯】水分補給するものは、家から持参するのか。中身はどうか。マスクの着用について、保護者へ通知をしているのか。

【学】(小) 保護者へは通知している。保護者から特に意見はない。水分について、家から持ってくる。夏の暑い時期は、経口補水液も可としている。

【保主】(中) 保健だよりで知らせている。運動部活動をする子は複数持っていたり、保護者が追加で届けてくることもある。通常はお茶だが、部活動時は、スポーツドリンクも可としている。

【歯】各学校では、経口補水液は、冷蔵庫に冷やしているのか。

【養】冷やして用意している。

【歯】スポーツドリンクがむし歯を作ることより、命にかかわる熱中症対策をとること。スポーツドリンクと経口補水液では吸収しやすさが違う。

経口補水液は、吸収がよい。ナトリウム濃度とブドウ糖が1：1～1：2が小腸から吸収しやすい濃度となる。カロリーは多いが、経口補水液ほど吸収されない。

ただ、経口補水液は、高価で美味しくない。参考までに作り方を紹介するが、美味しくない。スポーツドリンクは糖度が高いからむし歯になりやすいのではなく、酸度が低いことがむし歯を作りやすい。美味しくしようとすると甘くする、クエン酸を入れることで、美味しくなるが、酸度が下がる。参考まで。

【薬】スポーツの違いによっても運動強度が違うので補給する水分が異なる。ただ観察していて危険と思ったときは、経口補水液がよく、普段はお茶など分かりやすい目安を作るのがいい。

【養】(中) 部活動では、スポーツドリンクも許可しているが、保護者からむし歯や肥満について糖分の取りすぎを心配する保護者からの声あり。

【養】(小) 熱中症になってしまった場合の受診の目安が難しい。外遊びで、頭痛や吐き気を訴える子どもは多い。

【歯】 体育の前の体温測定はするのか。熱中症なのか、別のものなのか判断が難しいか。

【養】 毎朝、家庭で健康観察時に検温し、体調不良時は測っている。

【医】 熱中症チェックシートを使うと必要なことがわかりやすいのではないか。

チェックが入ったところの対応をすればいいと考える。記入するのは大変かと思うが。

【薬】 熱中症の対策飴、タブレットは学校に持って行ってもよいことになっているのか。

【養】 保護者からの連絡あれば、許可している。

【歯】 塩飴1個で塩分補給が大丈夫な量ではないので、注意すること。

【歯】 来年の市学校保健会で、このガイドラインを運用した結果を報告することを議題に入れてほしい。

6.事務連絡

①富田林保健所長より情報提供

- ・学校では、基本的感染対策をこれまでどおり進めてほしい。
- ・第7波の特徴は、18歳以下の感染が30%強と増加したこと。7月頃からは救急搬送事例も増え、搬送困難事例（大阪府で32件）もあった。
- ・12～19歳の3回目のワクチン接種率は大阪府では19.4%と低い。
- ・小児の重症化はあまり言われていないが、発熱、脱水、のどの痛みの症状が多い。このような症状があれば、初期処置が大事

②今年度の学校保健研修会について

- ・令和4研修会の担当は、薬剤師会
テーマは、「ヤングケアラー」または、「子宮頸がんワクチン」
- ・開会の挨拶…薬剤師会、閉会のあいさつ…医師会
- ・令和5年度研修会は医師会の担当

③第2回学校保健会の開催について

今後の状況をみながら、開催の有無や方法について検討させていただく。